

## 第1回 夷隅地区地域協議会 次第

日 時 令和5年1月20日（金）  
午後1時30分から  
場 所 大多喜町中央公民館 研修室

- 1 開 会
- 2 委員紹介
- 3 教育委員会挨拶
- 4 座長選出
- 5 議 事
  - (1) 地域協議会設置の趣旨
  - (2) 「県立高校改革推進プラン」及び「第1次実施プログラム」について
  - (3) 夷隅地区の県立高校の現状と課題
  - (4) 質疑
  - (5) その他
- 6 報告・連絡
- 7 閉 会

### 【ファイル資料】

- 資料1 夷隅地区地域協議会 委員名簿
- 資料2 夷隅地区地域協議会 設置要綱
- 資料3 「県立高校改革推進プラン」及び「第1次実施プログラム」について
- 資料4 夷隅地区地域協議会 基礎資料

(以下、参考資料)

- 1 第3期千葉県教育振興基本計画  
次世代へ光り輝く「教育立県ちば」プラン（概要版）
- 2 県立高校改革推進プラン（本冊子及び要約版）
- 3 県立高校改革推進プラン・第1次実施プログラム（本冊子及び要約版）
- 4 県立学校改革推進プラン・第1次～第4次実施プログラム（要約版）
- 5 公立高等学校所在図（令和4年4月）
- 6 千葉県高等学校所在図（令和4年4月）

## 夷隅地区地域協議会 委員名簿

50音順、敬称略

氏 名	所 属
市 原 芳 則	大多喜町役場 企画課長
江 澤 利 之	いすみ市教育委員会 学校教育課 課長
海 老 根 良 啓	いすみ市役所 企画政策課 課長
加 藤 茂 範	地域関係者（いすみ市住民）
小 高 一 哉	大多喜町教育委員会 教育課 課長
佐 久 間 靖 夫	大多喜町区長会 連合会 会長
佐 藤 啓 史	夷隅郡市PTA連絡協議会 会長
末 吉 徹	夷隅郡市小中学校長会 会長（いすみ市立国吉中学校 校長）
高 橋 邦 夫	学校法人高橋学園 千葉学芸高等学校 理事長・校長
鉄 井 修 一	千葉県教育庁 東上総教育事務所 所長
平 賀 洋 一	学校法人植草学園 植草学園大学／植草学園短期大学 学園事務局地域連携推進室長 特命教授
森 庸 光	勝浦市教育委員会 学校教育課 課長
吉 野 信 次	御宿町・布施学校組合教育委員会 教育課 課長
渡 邊 嘉 幸	千葉県高等学校長協会 長夷地区理事（県立大原高等学校 校長）

## 夷隅地区地域協議会設置要綱

## (目 的)

第1条 県立高校改革推進プランを踏まえ、地域における今後の学校の在り方などについて意見を聴くため、地域協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

なお、協議会は、夷隅地区（勝浦市、いすみ市、大多喜町、御宿町）における今後の学校の在り方などについての意見聴取を目的とするものであることから、地方自治法第138条の4第3項の規定に基づき、法律又は条例により設置された附属機関ではない。

## (構 成)

第2条 協議会は、委員15名程度で組織する。

2 委員は、原則として以下に掲げる者とする。

(1) 学識経験者

(2) 地域関係者

(3) 私学関係者

(4) 教育関係者

(5) その他千葉県教育委員会教育長（以下、「教育長」という。）が必要と認めた者

3 委員の任期は、令和5年3月31日までとする。

## (運 営)

第3条 協議会に座長を置く。

2 座長は、委員の互選により定める。

3 座長は、協議会の進行を行う。

4 座長に事故あるとき、又は欠けたときは、座長が指名した者が、その職務を代理する。

5 協議会は、必要に応じて教育長が招集する。

## (庶 務)

第4条 協議会に係る庶務は、千葉県教育庁企画管理部教育政策課（以下、「教育政策課」という。）が行う。

## (その他)

第5条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、教育政策課が別に定める。

## 附 則

この要綱は、令和4年11月14日から施行する。

## 第 1 回 夷隅地区地域協議会

### 「県立高校改革推進プラン」及び 「第 1 次実施プログラム」について

令和 5 年 1 月 20 日 (金) 13:30～  
大多喜町中央公民館 研修室



千葉県教育庁企画管理部  
教育政策課高校改革推進室

## I これまでの高校再編について

### 1 再編の経緯

「県立高等学校再編計画」  
(平成 14 年 1 月 1 日策定)

「県立学校改革推進プラン」  
(平成 24 年 3 月策定)

目標年次 平成 14 年度～23 年度

目標年次 平成 24 年度～令和 3 年度



学科設置や統合等の再編中心 コースなどの魅力づくりが中心

## 2 計画の性格

- ・ 具体計画は、**実施プログラム**により実施
- ・ 必要に応じた見直しを考慮

「県立高等学校再編計画」

「県立学校改革推進プラン」



第 1 期実施プログラム：H14.11 策定  
第 2 期実施プログラム：H16.5 策定  
第 3 期実施プログラム：H18.12 策定

第 1 次実施プログラム：H24.3 策定  
第 2 次実施プログラム：H26.3 策定  
第 3 次実施プログラム：H28.3 策定  
第 4 次実施プログラム：H30.3 策定

一部改訂  
H30.3 策定

## 3 「県立学校改革推進プラン」

### 実施プログラムの主な内容

- 魅力ある高等学校づくり
  - ・ 社会のニーズに対応したコースの設置  
**教員基礎コース**(4校) **保育基礎コース**(2校)  
**医療・福祉系コース**(8校) **工業系コース**(2校) 等
  - ・ **理数科**の設置(2校)
  - ・ **連携組織(コンソーシアム)**の設置(工業、農業)
  - ・ **総合学科**の設置(全日 2校、定時 1校)
  - ・ **中高一貫教育校**の設置(1校)
  - ・ **地域連携アクティブスクール**の設置(4校)
- 適正規模・適正配置
  - ・ **全日制 3 組統合**(125校 → 121校)
  - ・ **三部制定時制高校**の設置(1校)



## II 「県立高校改革推進プラン」について



令和 3 年 6 月～令和 4 年 1 月  
**次期プラン策定懇談会**開催  
令和 3 年 9 月～10 月  
**地域協議会**を 5 か所で開催  
令和 3 年 12 月～1 月  
パブリックコメント実施

令和 4 年 3 月  
**県立高校改革推進プラン策定**

今後 10 年間の県立高校改革に関する  
基本的な考え方を示す

## 1 県立高等学校の現状と課題

### (1) 生徒のニーズの多様化

- 高校進学率 **98.9%**
- 経済的、社会的に **様々な困難を抱えた生徒**の増加
- **日本語指導が必要な生徒**の増加

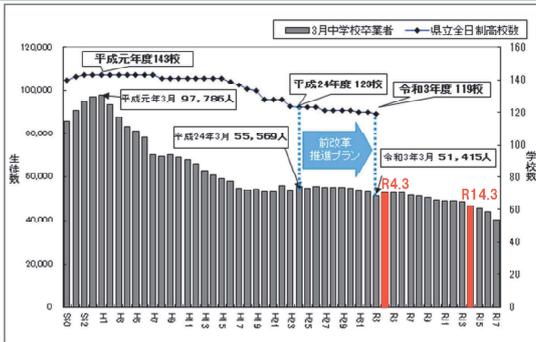
### (2) キャリア教育・職業教育の充実

- 高校卒業後の進路内訳
  - ・ 進学…約 **74%** (大学、専門学校等)
  - ・ 就職…約 **17%** (およそ 5,500 人)
- **農業、工業、水産、介護、保育分野等**  
**さらなる担い手の育成が必要**



### (3) 人口の減少

○中卒者数が10年後には現在より**約6,200人減少**



《本県の中学校卒業生数及び県立全日制高校校数の推移》

## 2 4つの計画実施上の重点事項

- (1) 全ての高校の魅力化と学びの改革
  - ・ **スクールポリシー**を基点に推進
- (2) キャリア教育と職業教育の充実
  - ・ **高校が小・中学校のキャリア教育を支援**  
→ 職業系専門学科への理解を深める
  - ・ **時代や社会が求める人材**の育成
- (3) 学校間連携
  - ・ 学校、学科の垣根を越えた連携を推進
- (4) 戦略的な広報
  - ・ **小・中学校等との連携**を視野に展開

## 3 4つの基本的コンセプト (目指すべき県立高等学校像)

- (1) 予測困難な時代の中で、生徒が主役となり、**未来を切り拓く力を育む学校**
- (2) 各校の特色化を進め、生徒・教職員が生き生きと活動して、**「自信」を育む学校**
- (3) 一人一人の可能性を広げ、地域から世界まで**様々な舞台で活躍できる生徒を育てる学校**
- (4) 身近な課題を探究するなど、地域との絆を深め、**地域とともに発展する学校**

## 4 8つの改革の方向性

- (1) 学習意欲を喚起し、**可能性や能力を最大限に伸長する学び**への転換
- (2) Society5.0※に対応した**新時代に求められる探究的な学び**の推進  
※ 仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会
- (3) 普通科を含めた全生徒の**キャリア教育と職業教育**の充実
- (4) 共生社会の実現や**多様な学習ニーズに対応した教育**の推進

## 4 8つの改革の方向性

- (5) スクール・ポリシー※に基づく**各校の魅力化・特色化と効果的な学校運営**の推進  
※ 各学校における教育活動の指針となる3つの方針
  - ・ 育成をめざす資質・能力に関する方針
  - ・ 教育課程に関する方針
  - ・ 入学者の受入れに関する方針
- (6) 生徒が生き生きと学ぶことができる**教育環境の整備**
- (7) **地域や企業、教育機関等と連携・協働**し、身近な課題解決を考える学びなどの充実
- (8) **地域の特性に配慮**し、地域の振興に寄与する**高校の在り方や適正配置**の検討

## 5 魅力ある県立高校づくりの推進

### 【キャリア教育の推進】

- **求められる人材の育成**に向けたコースの拡充・設置  
→ 医師・教員・保育士・介護従事者等
- **理数教育拠点校**の設置
- 時代のニーズを踏まえた新たなコースや学び  
→ **農業経営者の育成**など
- **工業系コンソーシアム**の活性化
- **起業家精神を有する人材**の育成
- **福祉人材育成のためコンソーシアム**を設置

プランの  
ポイント

### 【総合学科】

○新たに5校程度に設置

- ・ **STEAM教育**※の導入
- ・ 幅広い学びのニーズに対応した魅力ある系列
  - ※ 科学 (Science)、技術 (Technology)、工学 (Engineering)、アート (Art)、数学 (Mathematics) の5つの領域を対象とした教科等横断的な学習

### 【社会のニーズに対応した教育】

○ **単位制高校**※を3校程度拡充

- ・ 進学指導重点校などに **大規模な単位制高校** の設置
  - ※ 学年による教育課程の区分を設けず、決められた単位を修得すれば卒業が認められる高校

○ **地域連携アクティブスクール**を4校程度拡充

- ・ 学び直しや実践的なキャリア教育の推進

プランの  
ポイント

## 6 県立高校の適正規模・適正配置

**都市部**  
(第1学区～第3学区)



**郡部**  
(第4学区～第9学区)

○適正規模

- 都市部：1学年あたり **6～8** 学級
- 郡部：1学年あたり **4～8** 学級

○適正配置

- 今後10年で中学校卒業生数が **約6,200人** 減少
  - 活力ある教育活動の維持のため **10組程度の統合** を予定
- 都市部：**多様な学び** への変換  
**新たなタイプの学校** への再編
- 郡部：**学校・地域の状況等** に配慮して検討

プランの  
ポイント

### 【パブリックコメントの主な意見】

**一定程度の規模は  
不可欠である**

郡部については、**地域との十分な話し合い** が必要  
**過疎地域の特例** について  
検討してほしい

## Ⅲ 『第1次実施プログラム』について



令和4年10月  
**第1次実施プログラム** を策定

- ・ 県立高校改革推進プランの**具体計画**
- ・ **12の再編項目** について **18校が対象**
- ・ **今後の統合の考え方** を示す

### 第1次 実施プログラム 概要

#### 1 既存のコース等の設置拡充

- |                          |            |
|--------------------------|------------|
| (1) <b>教員基礎コース</b>       | 国府台・成東・大多喜 |
| (2) <b>保育基礎コース</b>       | 鎌ヶ谷西・土気    |
| (3) <b>医療系コース</b>        | 小見川        |
| (4) <b>グローバルスクール</b>     | 松戸国際       |
| (5) <b>福祉コース</b>         | 船橋豊富       |
| (6) <b>総合学科</b>          | 匝瑳         |
| (7) <b>地域連携アクティブスクール</b> | 行徳・市原      |
| (8) <b>通信制協力校</b>        | 銚子商業       |

第1次  
実施プログラム  
概要

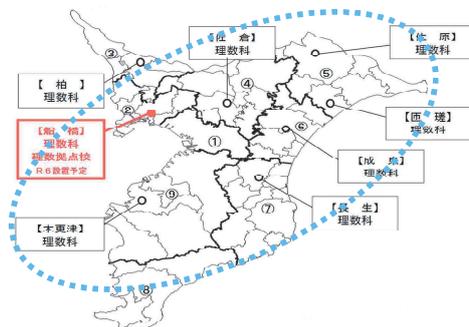
2 新たな学びの導入

- (1) **農業経営者育成に関するコース**  
茂原樟陽
- (2) **起業家育成に関するコース**  
千葉商業
- (3) **観光に関するコース**  
一宮商業
- (4) **先端ITコース(仮称)**  
袖ヶ浦

第1次  
実施プログラム  
概要

3 連携の推進

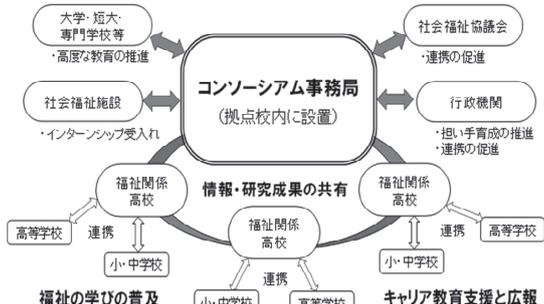
(1) **理数教育拠点校 船橋**



第1次  
実施プログラム  
概要

3 連携の推進

(2) **福祉系コンソーシアム設置 松戸向陽**



第1次  
実施プログラム  
概要

4 適正規模・適正配置

今後の**統合の基本的な考え方**

【都市部】

- **適正規模未満**の学校
- **将来適正規模の維持が困難**となることが見込まれる学校
- **同じタイプの学校が近接**

適正配置を考慮しながら規模を最適化  
特色や個性を持った、より魅力ある学校に再編

第1次  
実施プログラム  
概要

4 適正規模・適正配置

【郡 部】

通学の利便性、地元からの進学状況を踏まえ

**地域連携協働校** を指定

- 学校運営協議会制度 (**コミュニティ・スクール**) を導入
- 必要に応じて**近隣の高校を協力校に指定**することも検討  
… ICTを活用した授業、学校行事や部活動の合同実施

地域連携協働校に指定された高校も含め、  
**生徒募集において著しく困難が生じる場合は、統合も検討**

IV 今後の予定

- **再編対象校**
    - ・各校において**校内準備組織を設置**  
→ プログラム実現に向けた準備を開始
    - ・県民への周知、PR
  - **全県立高校** 「第1次実施プログラム」の推進
    - ・プラン及びスクール・ポリシーに基づき  
**魅力ある県立高校づくりを推進**
  - **適正規模・適正配置について**
    - ・**県内各地域で地域協議会を順次設置**  
→ 地域における県立高校の在り方について意見聴取
- 「第2次実施プログラム」以降の検討

## 夷隅地区地域協議会

## 【基礎資料】

1 夷隅地区の県立高校2校の現状.....	2
(1) 地区における学校所在地.....	2
(2) 県立高校2校について .....	3
ア 概要.....	3
イ 沿革.....	4
ウ 募集学級数の推移.....	5
(3) 入試の状況.....	5
(4) 進路の状況.....	6
2 夷隅地区の現状と今後の見通し.....	6
(1) 地区の中学校卒業生の進路状況等 .....	6
ア 地区の公立中学校卒業生と、第7学区の県立高校全日制への進学者数の推移.....	6
イ 地区内の公立中学校別卒業生（令和4年3月） .....	7
ウ 自治体別 公立中学校卒業生の進路先 .....	7
①勝浦市 .....	7
②いすみ市.....	8
③大多喜町.....	8
④御宿町 .....	9
⑤地域全体.....	9
エ 生徒の流出入状況（令和4年3月 国公立中学校卒業生） .....	10
(2) 地区の国公立中学校卒業生数の推移と見通し .....	11

※掲載しているデータは、特別な記載がない限り令和4年度のデータである。

また、確定値ではない場合がある。

# 1 夷隅地区の県立高校2校の現状

## (1) 地区における学校所在地

●県立高校 大多喜、大原

△私立高校 中央国際[通信制]、三育学院中等教育学校(R5.4開校予定)



(2) 県立高校2校について

ア 概要

学校名	大多喜	大原	
所在地	大多喜町大多喜 481	いすみ市大原 7985	
交通手段	いすみ鉄道大多喜駅 徒歩 7 分	JR 外房線大原駅 徒歩 10 分	
設置年度	明治 33 年	昭和 3 年	
学年別 学科・学級数	普通 4,4,4	総合 4,4,5 【系列】普通、園芸、海洋科学、生活福祉	
R4全校生徒数	390 ( 200 . 190 )	296 ( 167 . 129 )	
1 学年	127 ( 68 . 59 )	76 ( 48 . 28 )	
2 学年	114 ( 58 . 56 )	98 ( 64 . 34 )	
3 学年	149 ( 74 . 75 )	122 ( 55 . 67 )	
居住市町村別 生徒数(割合)	いすみ市 137 ( 35.1% ) 大多喜町 68 ( 17.4% ) 茂原市 51 ( 13.1% ) 勝浦市 48 ( 12.3% ) 御宿町 21 ( 5.4% )	いすみ市 121 ( 40.9% ) 茂原市 39 ( 13.2% ) 勝浦市 37 ( 12.5% ) 大多喜町 25 ( 8.4% ) 御宿町 20 ( 6.8% )	
第 7 学区 生徒数(割合)	380 (97.4%)	285 (96.3%)	
地区内 生徒数(割合)	274 (70.3%)	203 (68.6%)	
部活動数 加入率	運動部 209 文化部 150 加入率92.1%	運動部 134 文化部 202 加入率 113.5%	
進路状況 (R4.3)	大学進学 (うち4年大)	79 ( 55.6% ) 70 ( 49.3% )	19 ( 14.3% ) 13 ( 9.8% )
	専修学校	41 ( 28.9% )	42 ( 31.6% )
	職業能力校	0 ( 0.0% )	0 ( 0.0% )
	就職	14 ( 9.9% )	71 ( 53.4% )
	その他	8 ( 5.6% )	1 ( 0.8% )
教職員数 (本務者)	校長 1 名 教頭 1 名 教諭等 30 名 養護教諭 1 名 実習助手 1 名 事務職員 3 名 技能員等 1 名	校長 1 名 教頭 2 名 教諭等 47 名 養護教諭 3 名 実習助手 6 名 事務職員 5 名 技能員等 1 名	
	合計 38 名	合計 65 名	
校地面積	敷地全体 41,431	敷地全体 121,904	
	保有建物 16,849	保有建物 50,905	
	保有運動場 23,853	保有運動場 39,041	
	実習地他 592	実習地他 30,783	
	借用地 137	借用地 1,175	
再編歴	H9-英語科設置(H22 募集停止) R6-教員基礎コース設置	H27-岬高校、勝浦若潮高校と統合	

イ 沿革

大多喜		大原	
明 33	4. 30	千葉県大多喜中学校創設	明 34 5 勝浦水産補習学校開校 (後の勝浦高校)
昭 15	11. 16	創立 40 周年記念祝賀会举行	大 15 4. 28 組合立高等実業補習学校開校 (後の岬高校)
昭 23	4. 1	千葉県立大多喜高等学校と改称	昭 3 4. 1 組合立千葉県御宿実科高等 女学校開校 (後の御宿高校)
昭 25	4. 1	千葉県立大多喜高等学校と大多 喜女子高等学校が統合 大多喜校舎に普通科を設置 森宮校舎に家庭科を設置	4. 20 大原町立大原実科高等女学校 開校 (後の大原高校)
昭 26	1. 21	創立 50 周年記念式典举行	昭 4 3. 19 千葉県大原高等女学校と改称
昭 35	12. 3	創立 60 周年記念式典举行	昭 18 4. 1 千葉県立大原高等女学校と改称 (県立移管)
昭 38	4. 1	森宮校舎、千葉県立大多喜女子 高等学校として独立	昭 23 4. 1 千葉県立大原高等学校と改称 男女共学を実施
昭 46	1. 20	創立 70 周年記念式典举行	昭 25 4. 1 千葉県立長者農業高等学校を統合
昭 55	11. 15	創立 80 周年記念式典举行	昭 28 6. 20 創立 25 周年記念式举行
平 2	4	新入生より新制服となる	昭 42 11. 29 創立 35 周年記念式举行
	11. 30	創立 90 周年記念式典举行	昭 54 11. 30 創立 50 周年記念誌発行
平 4	4. 1	英語コース設置	平 6 4. 1 健康スポーツ科設置
平 5	4. 20	「大中至正」を校訓とする	平 10 11. 10 創立 70 周年記念式举行
平 9	4. 1	英語科設置	平 17 4 御宿高校と勝浦高校が統合し 勝浦若潮高校と改称
平 12	11. 11	創立 100 周年記念式典举行	平 21 11. 20 創立 80 周年記念式举行
平 13	3. 31	「百年史」刊行	平 26 7. 4 「大原高校」、「岬高校」、「勝浦若潮 高校」の統合が決定
平 14	4. 1	2 学期制施行	平 27 4. 1 岬高校・勝浦若潮高校と統合 校名を「大原高校」とする
平 16	4. 1	千葉県立大多喜女子高等学校と 統合	平 29 4. 1 岬校舎・勝浦若潮校舎閉舎
平 22	4	英語科募集停止	
	5. 23	女子高跡地に「女子高校校歌及び 沿革」記念碑建立除幕	
	11. 4	創立 100 周年記念式典举行	
平 24	3	英語科 13 期生卒業により英語科 廃止	
平 25	4. 1	3 学期制施行	

出典：各学校の令和4年度学校要覧より抜粋

## ウ 募集学級数の推移

学校名	学科名	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
大多喜	普通	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
大原	総合学科	-	6	6	6	6	5	5	4	4	4
	普通	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岬	普通	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	園芸	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
勝浦若潮	総合学科	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
地区合計		11	10	10	10	10	9	9	8	8	8

※大原高校は、H26年度に岬高校、勝浦若潮高校を統合した。

### (3) 入試の状況

学校	学科名	令和2年度入学者選抜						令和3年度入学者選抜						令和4年度入学者選抜					
		定員	予定(募集)人員	志願者数	倍率	許可候補者数	充足率	定員	募集人員	志願者数	倍率	許可候補者数	充足率	定員	募集人員	志願者数	倍率	許可候補者数	充足率
大多喜	普通	160	96 (64)	144 54	1.5 0.8	155	97%	160	160	114	0.7	115	72%	160	160	123	0.8	127	79%
大原	総合学科	200	200 (90)	116 25	0.6 0.3	133	67%	160	160	106	0.7	104	65%	160	160	76	0.5	75	47%

1. 定員：第1学年募集定員(40名×募集学級数)
2. 各学科の上段：令和2年度以前は前期選抜、令和3年度以降は一般選抜
3. 各学科の下段：令和2年度以前は後期選抜、令和3年度以降は一般選抜に一本化したため、なし
4. 予定人員：令和2年度以前の前期選抜の枠であり、県が作成する入学者選抜実施要項で示された範囲内で、学校・学科ごとに定めるものである
5. 募集人員：令和2年度以前の後期選抜の枠であり、募集定員から前期選抜等により入学許可候補者に内定した者のうち、入学確約書を提出した者の数を減じた人数であり、令和3年度以降は募集定員より併設中からの内部進学者分の人数を除いたものである。
6. 許可候補者数:前期選抜、後期選抜、一般選抜、2次募集(定員を満たさなかった場合に行われる選抜)等で入学許可候補者となった者の数である
7. 充足率：定員に対する入学許可候補者数であり、 $\text{入学許可候補者数} \div \text{定員} \times 100$ で算出した

(4) 進路の状況

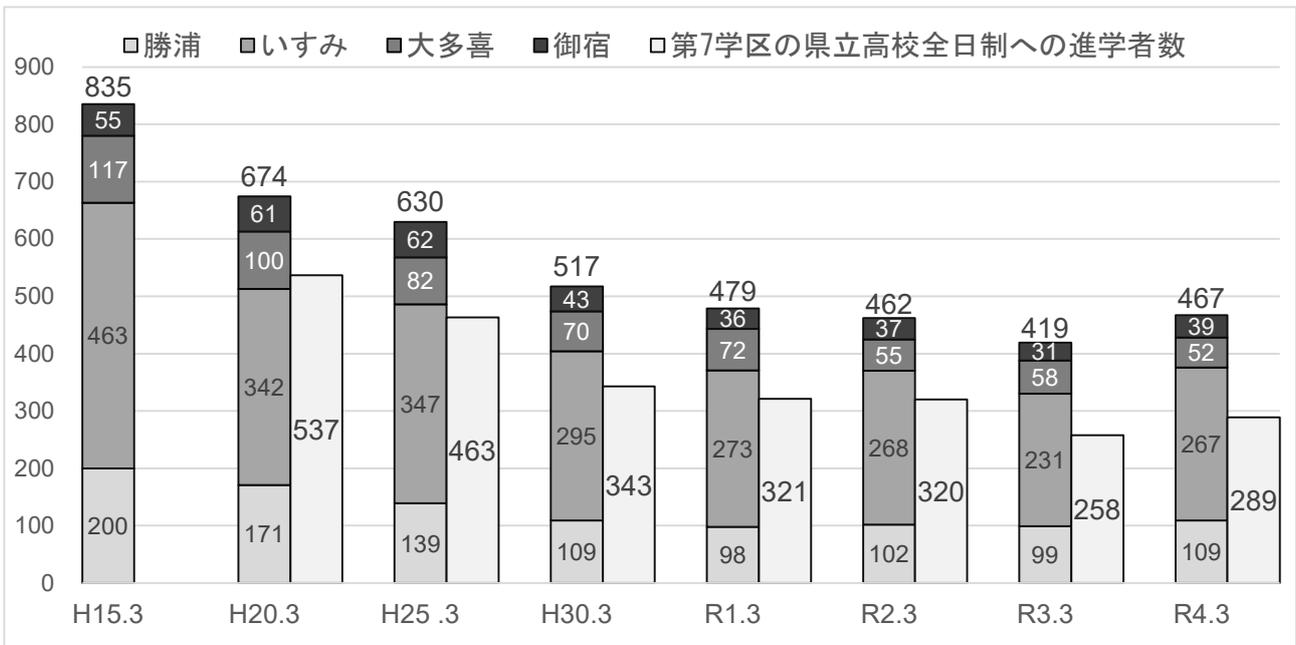
学 校 名	大 多 喜	大 原
大学進学	79	19
(うち4年大)	70	13
専修学校	41	42
職業能力校	0	0
就職	14	71
その他	8	1
卒業者計	142	133

出典：令和4年度進路状況調査を基に教育政策課にて算出(確定値ではない)

2 夷隅地区の現状と今後の見通し

(1) 地区の中学校卒業者の進路状況等

ア 地区の公立中学校卒業者と、第7学区の県立高校全日制への進学者数の推移



	H15.3	H20.3	H25.3	H30.3	R1.3	R2.3	R3.3	R4.3
勝浦市	200	171	139	109	98	102	99	109
いすみ市	463	342	347	295	273	268	231	267
大多喜町	117	100	82	70	72	55	58	52
御宿町	55	61	62	43	36	37	31	39
合計	835	674	630	517	479	462	419	467
進学者		537	463	343	321	320	258	289

※H15.3のいすみ市は、夷隅町、大原町、岬町の合計である。また、進学者数はデータが存在しないため、掲載していない。

出典：中学校卒業生数は令和4年12月公表の学校基本調査（文部科学省）より、進学者数は、進路状況調査を基に教育政策課にて算出。ともに公立中学校からの卒業生、進学者の数である。

## イ 地区内の公立中学校別卒業生（令和4年3月）

勝 浦 市		い す み 市		大 多 喜 町		御 宿 町	
勝浦中	109	国吉中	50	大多喜中	52	御宿中	39
		大原中	115				
		岬中	102				
		計	267				

出典:教育政策課調べ

令和4年6月時点の数値であるので、p.6における中学校卒業生数とは数が異なることがある。

## ウ 自治体別 公立中学校卒業生の進路先

### ①勝浦市

中学校卒業生の進路先

進路先	人数	割合
高校【全日制】	96	88.1%
公立	75	68.8%
私立	21	19.3%
高校【定時制】	0	0.0%
高校【通信制】	8	7.3%
高等専門学校	0	0.0%
特別支援学校	0	0.0%
県外へ進学	1	0.9%
進学以外	4	3.7%
合計	109	100.0%

全日制公立高校進学者 75 名の進学先学区の内訳

学区	公立高校所在市町	進学者	割合
第1学区	千葉	2	2.7%
第2学区	八千代、習志野、船橋、市川、浦安、松戸	0	0.0%
第3学区	鎌ヶ谷、柏、流山、野田、我孫子	0	0.0%
第4学区	白井、印西、成田、富里、佐倉、八街、四街道	0	0.0%
第5学区	香取、多古、銚子、旭、匝瑳	0	0.0%
第6学区	山武、東金、大網白里、九十九里	1	1.3%
第7学区	茂原、一宮、大多喜、いすみ	64	85.3%
第8学区	鴨川、南房総、館山	8	10.7%
第9学区	富津、木更津、君津、袖ヶ浦、市原	0	0.0%
合計		75	100.0%

## ②いすみ市

中学校卒業者の進路先

進路先	人数	割合
高校【全日制】	238	89.1%
公立	191	71.5%
私立	47	17.6%
高校【定時制】	3	1.1%
高校【通信制】	9	3.4%
高等専門学校	1	0.4%
特別支援学校	0	0.0%
県外へ進学	9	3.4%
進学以外	7	2.6%
合計	267	100.0%

全日制公立高校進学者 191 名の進学先学区の内訳

学区	公立高校所在市町	進学者	割合
第1学区	千葉	20	10.5%
第2学区	八千代、習志野、船橋、市川、浦安、松戸	4	2.1%
第3学区	鎌ヶ谷、柏、流山、野田、我孫子	0	0.0%
第4学区	白井、印西、成田、富里、佐倉、八街、四街道	0	0.0%
第5学区	香取、多古、銚子、旭、匝瑳	0	0.0%
第6学区	山武、東金、大網白里、九十九里	4	2.1%
第7学区	茂原、一宮、大多喜、いすみ	162	84.8%
第8学区	鴨川、南房総、館山	1	0.5%
第9学区	富津、木更津、君津、袖ヶ浦、市原	0	0.0%
合計		191	100.0%

## ③大多喜町

中学校卒業者の進路先

進路先	人数	割合
高校【全日制】	45	86.5%
公立	42	80.8%
私立	3	5.8%
高校【定時制】	0	0.0%
高校【通信制】	4	7.7%
高等専門学校	1	1.9%
特別支援学校	0	0.0%
県外へ進学	2	3.8%
進学以外	0	0.0%
合計	52	100.0%

全日制公立高校進学者 42 名の進学先学区の内訳

学区	公立高校所在市町	進学者	割合
第1学区	千葉	2	4.8%
第2学区	八千代、習志野、船橋、市川、浦安、松戸	2	4.8%
第3学区	鎌ヶ谷、柏、流山、野田、我孫子	0	0.0%
第4学区	白井、印西、成田、富里、佐倉、八街、四街道	0	0.0%
第5学区	香取、多古、銚子、旭、匝瑳	0	0.0%
第6学区	山武、東金、大網白里、九十九里	0	0.0%
第7学区	茂原、一宮、大多喜、いすみ	36	85.7%
第8学区	鴨川、南房総、館山	0	0.0%
第9学区	富津、木更津、君津、袖ヶ浦、市原	2	4.8%
合計		42	100.0%

#### ④御宿町

中学校卒業者の進路先

進路先	人数	割合
高校【全日制】	35	89.7%
公立	29	74.4%
私立	6	15.4%
高校【定時制】	0	0.0%
高校【通信制】	2	5.1%
高等専門学校	1	2.6%
特別支援学校	0	0.0%
県外へ進学	1	2.6%
進学以外	0	0.0%
合計	39	100.0%

全日制公立高校進学者 29 名の進学先学区の内訳

学区	公立高校所在市町	進学者	割合
第1学区	千葉	0	0.0%
第2学区	八千代、習志野、船橋、市川、浦安、松戸	0	0.0%
第3学区	鎌ヶ谷、柏、流山、野田、我孫子	0	0.0%
第4学区	白井、印西、成田、富里、佐倉、八街、四街道	1	3.4%
第5学区	香取、多古、銚子、旭、匝瑳	0	0.0%
第6学区	山武、東金、大網白里、九十九里	0	0.0%
第7学区	茂原、一宮、大多喜、いすみ	27	93.1%
第8学区	鴨川、南房総、館山	1	3.4%
第9学区	富津、木更津、君津、袖ヶ浦、市原	0	0.0%
合計		29	100.0%

#### ⑤地域全体

中学校卒業者の進路先

進路先	人数	割合
高校【全日制】	414	88.7%
公立	337	72.2%
私立	77	16.5%
高校【定時制】	3	0.6%
高校【通信制】	23	4.9%
高等専門学校	3	0.6%
特別支援学校	0	0.0%
県外へ進学	13	2.8%
進学以外	11	2.4%
合計	467	100.0%

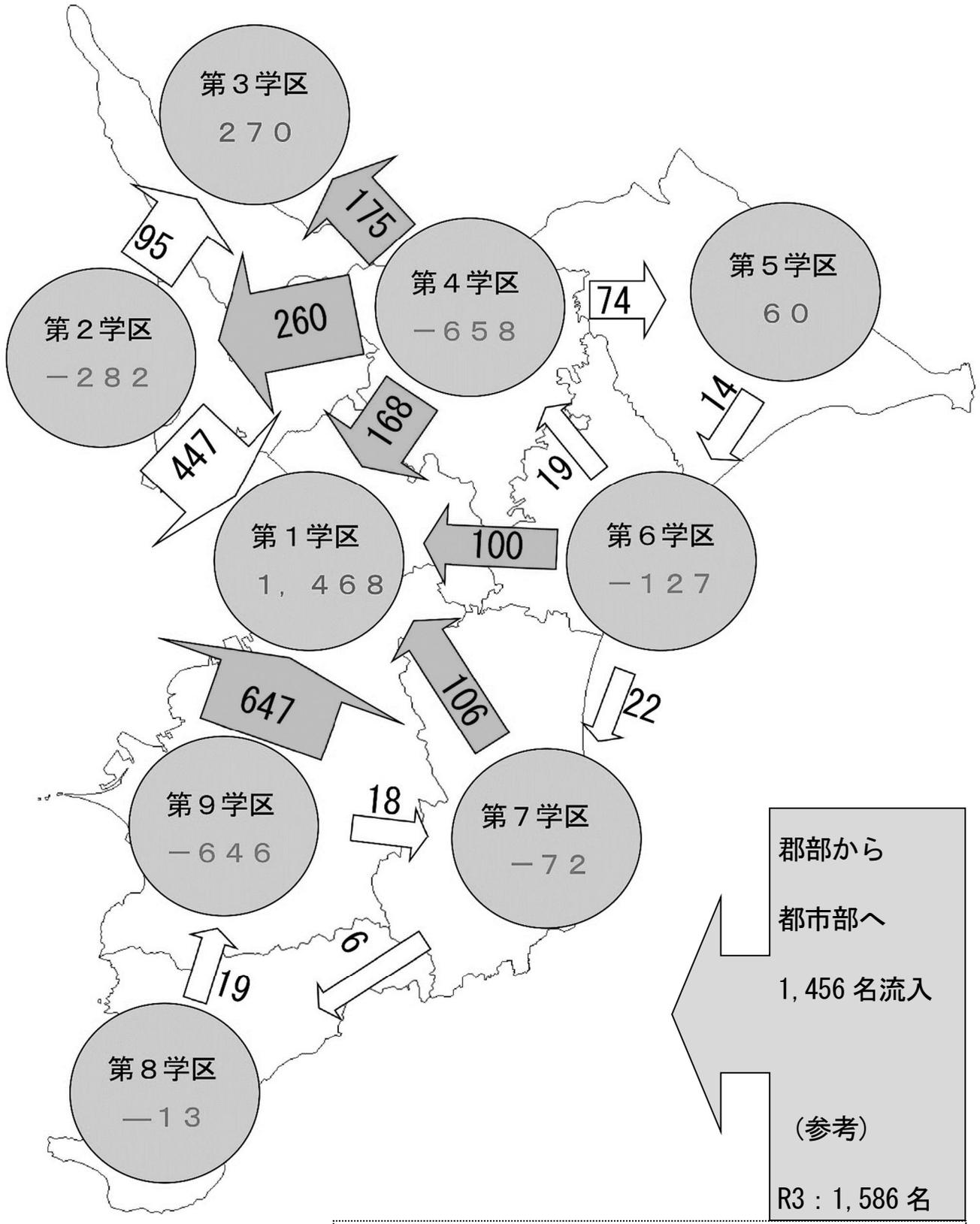
全日制公立高校進学者 337 名の進学先地域の内訳

学区	公立高校所在市町	進学者	割合
第1学区	千葉	24	7.1%
第2学区	八千代、習志野、船橋、市川、浦安、松戸	6	1.8%
第3学区	鎌ヶ谷、柏、流山、野田、我孫子	0	0.0%
第4学区	白井、印西、成田、富里、佐倉、八街、四街道	1	0.3%
第5学区	香取、多古、銚子、旭、匝瑳	0	0.0%
第6学区	山武、東金、大網白里、九十九里	5	1.5%
第7学区	茂原、一宮、大多喜、いすみ	289	85.8%
第8学区	鴨川、南房総、館山	10	3.0%
第9学区	富津、木更津、君津、袖ヶ浦、市原	2	0.6%
合計		337	100.0%

出典:令和4年度進路状況調査を基に教育政策課にて作成

令和4年6月時点の数値であるので、p.6における中学校卒業生数とは数が異なることがある。

エ 生徒の流出入状況（令和4年3月 国公立中学校卒業生）



○県内全日制公立高校について、学区間の生徒の流れを流入と流出の差で示した。  
○郡部から都市部への流入については灰色で示している。  
出典：教育政策課調べ

(2) 地区の国公立中学校卒業生数の推移と見通し

現在の学年 卒業年月	中3 R5.3	中2 R6.3	中1 R7.3	小6 R8.3	小5 R9.3	小4 R10.3	小3 R11.3	小2 R12.3	小1 R13.3	5歳 R14.3
勝 浦	101	97	83	87	71	75	56	82	64	77
い す み	247	253	252	232	253	221	216	206	207	189
大 多 喜	86	81	65	71	70	54	64	69	63	40
御 宿	23	46	29	37	27	35	27	24	32	23
合 計	457	477	429	427	421	385	363	381	366	329

出典：学校基本調査（文部科学省）及び千葉県年齢別町丁目別人口調査（千葉県総合企画部統計課）を基に令和4年3月に教育政策課にて作成

